

## 2024年度 福井県バレーボール協会 強化方針

強化委員会

### 1. 佐賀国民スポーツ大会に向けた強化

#### ①少年の部

目 標  
強化内容

ベスト4

高校総体兼国スポ予選会優勝チームを中心に、強化に取り組む。全国トップの高校やVリーグチームとの強化合宿・試合を積極的にこなし、心技体にわたり効果的な強化活動を展開する。

#### ②成年の部

目 標  
強化内容

北信越国スポ突破

国スポ予選会を開催し、県選抜チームを編成する。併せてふるさと選手を加えて強化に取り組む。県外国スポチームやVリーグチームとの強化合宿・試合を積極的にこなし、全国大会での結果を積み上げる。

#### ③ビーチの部

目 標  
強化内容

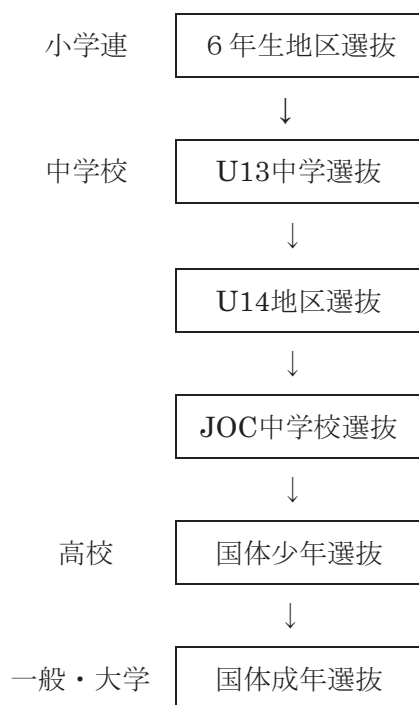
北信越国スポ突破

国スポ予選会を開催し、県代表選手を決定する。高校部活動と連携を取り、代表選手が積極的にビーチの練習ができる環境に取り組む。県内外の大会に参加し、経験を積み上げる。

#### ④選手強化本部にスーパーアドバイザーを配置

藤田 幸光 氏(継続) 京都橘大学女子バレーボール部監督  
村上 めぐみ 氏(継続) 元全日本選手 株式会社立飛ホールディングス  
幅口 絵里香 氏(継続)  
道木 優輝 氏(継続) DG2GYM所属

### 2. 福井型指導者・競技者育成一貫システム



小学連の6年生地区選抜(平成22年度より)、中学校のU13・地区選抜・JOC中学選抜、高校の国体少年選抜、一般の国体成年選抜と縦の連携を深め、連盟間の親密なつながりのもと強化・育成を推し進め、トップアスリートと指導者を育成していく。

ビーチバレーにおいては、トッププレーヤーを中心に全国の情勢をにらみながら、小浜を中心に小・中・高への普及を進め、全国に先駆けた体制作りに取り組む。

# 2024年度ビーチバレーボール競技（少年種別）強化計画

## 1. 競技力向上に向けた環境整備および強化拠点校の設置

「ふくいビーチバレーボールクラブ」練習会を年間通して実施する。

嶺南会場は若狭鯉川シーサイドパーク及び若狭東高校ビーチバレーボールコート、嶺北会場は三国サンセットビーチ、鷹巣海水浴場を活動拠点とし、年間を通して継続した練習が行える環境を整える。

5月の予選会では、上位優勝、準優勝ペアを第2期強化指定選手とする。予選会後は、強化合宿および県外遠征を通して、本県チームを全国トップレベルに引き上げ、男女代表ペアで7月北信越ブロック予選会に挑む。下期（11月～3月）の期間は、男女の強化拠点校を定め、合同合宿や県外チームとの練習試合等で競わせながら、競技の基礎を固める。

## 2. 福井しあわせ元気国体会場の有効活用

30年福井国体会場地の若狭鯉川シーサイドパーク特設コートで、ビーチバレー競技の連盟主催大会や全国大会予選会、各年代別のビーチバレーボール教室等を実施し、選手の発掘、育成、強化の拠点場所として有効に活用する。

## 3. ジュニア世代の有望選手の発掘、育成、強化

中学生・高校1年生の年齢層を中心とした練習生を募集する。そのため、県高体連・県内各中・高校顧問、クラブチーム等の協力を得て、県内トップレベル選手、それに準じる選手を育成し、競技レベルの底上げを図る。また、強化指定選手と競わせながらジュニア世代の将来性豊かな有望選手の発掘・育成・強化に一体的に取り組む。

また、年間を通して小・中・高校生を対象とした体験会を開催する。連盟ホームページをより充実させ、募集について県内に幅広く情報発信する。

本県ゆかりのトップアスリートを招へいし、その魅力にふれ合うことでビーチバレーボール競技の興味・関心を一層高め、県内でビーチバレーボール競技ができる環境が「身近にある」ことを周知する。

## 4. スーパーアドバイザーによる本県チームへのプラス効果

長年にわたり第一線で活躍してきた本県選手から、プレーする姿勢や取り組み方に触れる。北信越ブロック予選会で、男女ともに国スポ枠2位以上の出場枠を獲得するため、他県の最新情報の収集や効果的な練習方法、疲労の取り方、調整の仕方などについて自らの経験を選手に伝え、選手のコンディションや心理面を向上させるなどアドバイスを提供するなど、きめ細かなサポートを構築していく。また、選手だけでなく、県内の指導者を対象に指導方法を学び、スキルアップできる機会とする。